

2018年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年4月13日

上場会社名 株式会社SHIFT 上場取引所 東
 コード番号 3697 URL http://www.shiftinc.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)丹下 大
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理統括部 部長 (氏名)岡 朋宏 (TEL)03(6809)1165
 四半期報告書提出予定日 2018年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期第2四半期の連結業績(2017年9月1日~2018年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期第2四半期	5,800	70.8	541	626.8	562	472.9	340	—
2017年8月期第2四半期	3,396	35.2	74	△63.1	98	△52.6	27	△79.2

(注) 包括利益 2018年8月期第2四半期 370百万円 (636.3%) 2017年8月期第2四半期 50百万円 (△62.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年8月期第2四半期	23.58	21.83
2017年8月期第2四半期	1.88	1.74

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年8月期第2四半期	5,782	2,429	39.4
2017年8月期	5,330	2,117	36.1

(参考) 自己資本 2018年8月期第2四半期 2,277百万円 2017年8月期 1,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年8月期	—	0.00	—	—	—
2018年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年8月期の連結業績予想(2017年9月1日~2018年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	59.0	1,100	181.0	1,100	149.6	750	259.4	51.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年8月期2Q	14,540,000株	2017年8月期	14,490,000株
2018年8月期2Q	78,760株	2017年8月期	78,760株
2018年8月期2Q	14,426,212株	2017年8月期2Q	14,399,752株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2018年8月期2Q 78,600株、2017年8月期 78,600株)が含まれております。また、期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております(2018年8月期2Q 78,600株、2017年8月期2Q 78,600株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が長期的に継続しておりますが、海外経済や金融資本市場の不確実性の影響により先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループがサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー (ICT) を駆使した革新的な金融商品・サービスの潮流であるフィンテック (Fintech) や労働人口の減少と政府が掲げる働き方改革の元で注目されているRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)といった新たな技術・コンテンツの出現、技術や製品の高度化・複雑化が進んでいる一方で、仮想通貨の不正アクセスによる外部流出などに代表されるセキュリティ問題も深刻化しています。

こうした経営環境の中、当社グループでは当連結会計年度を売上高1,000億円企業を目指した2つ目の通過点である成長戦略「SHIFT'300 -シフトスリーハンドレッド-」の一年目として位置づけ、サービスの強化と新しい価値の創造、業界No.1のポジショニングのためのアカウント強化、人材の強化・育成を重点課題として取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては前連結会計年度から積極的に取り組んでおりました人材に対する投資が結果として現れたことに加え、注力業界の顧客獲得・受注拡大が進んだことにより、売上高5,800,943千円(前年同期比70.8%増)、営業利益541,106千円(前年同期比626.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は340,235千円(前年同期比1,154.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①エンタープライズ市場

エンタープライズ市場では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、前連結会計年度より特にIT投資規模が大きい金融・流通各分野を注力業界として定め取り組んだ結果、長期的な関係構築を視野に入れたプロジェクトへの参画が進み、こうした新規顧客からの売上高が徐々に増加してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間のエンタープライズ市場の売上高は5,112,152千円(前年同期比82.3%増)、営業利益は1,151,717千円(前年同期比115.0%増)となりました。

②エンターテインメント市場

エンターテインメント市場では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を消費者に提供するお客様に向け、品質管理工程やデバック業務のアウトソーシング、カスタマーサポート業務のアウトソーシングにより、お客様ビジネスの付加価値を向上させるサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、競合との差別化を図ることによる業界内認知度の向上や、既存顧客からの売上高が増加したことにより、収益基盤の拡大を進めました。この結果、当第2四半期連結累計期間のエンターテインメント市場の売上高は688,791千円(前年同期比16.2%増)、営業利益は184,949千円(前年同期比15.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ452,166千円増加し、5,782,952千円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金が409,502千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ140,777千円増加し、3,353,811千円となりました。これは主に、事業拡大に伴い買掛金が137,658千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ311,388千円増加し、2,429,140千円となりました。これは主に、利益剰余金が340,235千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ49,609千円増加しましたが、連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額124,354千円を調整した結果、1,902,283千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は339,627千円（前年同期は51,624千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上562,572千円、仕入債務の増加137,658千円や未払金及び未払費用の増加117,583千円等の資金の増加要因があったものの、売上債権の減少442,425千円や法人税等の支払額135,340千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は128,822千円（前年同期は1,167,991千円の使用）となりました。これは主に、長期預金の払戻による収入150,000千円等の資金の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出80,056千円や敷金の差入による支出165,520千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は158,366千円（前年同期は1,102,277千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出162,063千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月期の業績予想につきましては、2018年1月12日に公表いたしました数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2018年4月13日）公表いたしました「2018年8月期第2四半期累計連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,028	1,902,283
売掛金	1,272,701	1,682,203
たな卸資産	20,624	40,371
その他	143,257	150,367
貸倒引当金	△7,627	△10,229
流動資産合計	3,405,984	3,764,996
固定資産		
有形固定資産	239,064	306,865
無形固定資産		
のれん	730,315	688,534
その他	127,664	140,827
無形固定資産合計	857,980	829,361
投資その他の資産	827,757	881,730
固定資産合計	1,924,802	2,017,956
資産合計	5,330,786	5,782,952
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,570	363,229
1年内返済予定の長期借入金	342,883	358,163
未払費用	445,050	492,190
未払法人税等	123,167	202,213
賞与引当金	44,509	37,354
その他	320,790	361,172
流動負債合計	1,501,972	1,814,323
固定負債		
長期借入金	1,654,459	1,477,116
その他	56,602	62,371
固定負債合計	1,711,061	1,539,488
負債合計	3,213,034	3,353,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	578,269	585,394
資本剰余金	533,081	540,206
利益剰余金	875,720	1,215,955
自己株式	△60,175	△60,175
株主資本合計	1,926,895	2,281,380
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,700	△4,001
その他の包括利益累計額合計	△2,700	△4,001
新株予約権	2,540	2,540
非支配株主持分	191,017	149,222
純資産合計	2,117,752	2,429,140
負債純資産合計	5,330,786	5,782,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年9月1日 至2017年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)
売上高	3,396,603	5,800,943
売上原価	2,459,184	4,103,073
売上総利益	937,419	1,697,869
販売費及び一般管理費	862,970	1,156,762
営業利益	74,448	541,106
営業外収益		
受取利息	150	161
為替差益	7,564	—
助成金収入	14,958	30,825
その他	4,970	1,775
営業外収益合計	27,643	32,762
営業外費用		
支払利息	2,670	3,375
持分法による投資損失	—	4,904
為替差損	—	2,504
その他	1,230	511
営業外費用合計	3,901	11,296
経常利益	98,190	562,572
税金等調整前四半期純利益	98,190	562,572
法人税等	47,494	190,411
四半期純利益	50,696	372,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,583	31,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,112	340,235

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年9月1日 至2017年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)
四半期純利益	50,696	372,160
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△330	△1,301
その他の包括利益合計	△330	△1,301
四半期包括利益	50,365	370,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,781	338,933
非支配株主に係る四半期包括利益	23,583	31,925

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年9月1日 至2017年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	98,190	562,572
減価償却費	41,582	54,555
のれん償却額	26,578	41,781
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,303	2,799
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,989	△4,062
受取利息及び受取配当金	△902	△273
支払利息	2,670	3,375
為替差損益(△は益)	△12,157	2,743
持分法による投資損益(△は益)	—	4,904
売上債権の増減額(△は増加)	117,378	△442,425
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,652	△19,746
前払費用の増減額(△は増加)	△3,093	△10,325
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,663	137,658
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△20,287	117,583
その他	32,063	26,928
小計	195,413	478,069
利息及び配当金の受取額	902	273
利息の支払額	△2,670	△3,375
法人税等の支払額	△142,021	△135,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,624	339,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期預金の預入による支出	△250,000	—
長期預金の払戻による収入	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△28,892	△80,056
無形固定資産の取得による支出	△21,006	△32,276
投資有価証券の取得による支出	△360,463	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△547,084	—
敷金の差入による支出	△14,975	△165,520
敷金の回収による収入	635	382
その他	53,795	△1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,167,991	△128,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△98,345	△162,063
株式の発行による収入	5,300	14,250
自己株式の取得による支出	△64	—
その他	△4,611	△10,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,102,277	△158,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,873	△2,829
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,215	49,609
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,655	1,977,028
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△124,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,632,439	1,902,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2016年9月1日 至 2017年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,803,824	592,778	3,396,603	—	3,396,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,803,824	592,778	3,396,603	—	3,396,603
セグメント利益	535,679	159,628	695,308	△620,859	74,448

(注) 1. セグメント利益の調整額△620,859千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,112,152	688,791	5,800,943	—	5,800,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,112,152	688,791	5,800,943	—	5,800,943
セグメント利益	1,151,717	184,949	1,336,667	△795,560	541,106

(注) 1. セグメント利益の調整額△795,560千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、ソフトウェアテストを中心とするソフトウェアの品質保証サービス全般を提供しております。これを従来は、「ソフトウェアテスト事業」及び「その他の事業」と説明してまいりましたが、前連結会計年度より、「エンタープライズ市場」と「エンターテインメント市場」の2つの報告セグメントに変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係るセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。